

ビタミンBook

発行: 笠田高等学校図書館



連日 40℃近い猛暑だった夏もいつの間にか去り、季節は秋に移り変わりました。どこからか「きんもくせい」の花の香りが漂い、秋の深まりを感じます。

秋といえば、お芋。芋にも色々ありますが、みなさんは何が思い浮かびますか。さつまいも、さといも、じゃがいも…。

『お芋 いろいろ なんの いも?』チャイルド社から出版されている本に詳しく載っています。

絵本『さつまのおいも』中川ひろたか(文)村上康成(絵)童心社

よだれが出そうなくらいおいしそうな絵本です。



このからの 図書館行事

- ♪ おもちゃかぼちゃでランタン作り
日時 10月23日(金) 15:45～
- ♪ 読書会
日時 11月9日(月) 15:45～
- ♪ じゃんぼかるたで百人一首大会
日時 2021年1月8日(水) 15:45～



☆ いずれも笠田高校図書館で行います。

☆ 今年度の「夕暮れコンサート」は中止です。毎年、色々なジャンルのアーティストをお招きして開催していた、夕暮れコンサートですが、新型コロナウイルスの感染拡大を避けるために、今年度の開催は見送りました。楽しみにしてくれていた生徒のみなさんもうれしいと思いますが、涙をのんで中止といたします。



2020.10

13号



こんな本どうですか？

『自分の顔が好きですか?「顔」の心理学』

山口真美(著) 岩波書店

2016年5月に出版された岩波ジュニア新書ですが、出版から4年たった今でも読まれ続けている本です。

顔は心の窓です。「いい顔」は、目鼻立ちの美しさではありません。複雑な人間関係の中で、他人や自分を偽ることなく、楽しく生きているか。自分や他人を大切にしているか。そんな生き方が顔にあらわれ人間的な魅力となると書かれています。

親からもらったものがそのまま大満足という恵まれた人は、ほとんどいない。自分の鼻はどうして低いのか、どうして目が二重じゃないのか。些細なことになやんでいるかもしれません。不幸をまねくのは顔ではなくて、顔とのつき合い方を知らないことにあるのです。自分の内面にも真摯に向き合い磨き上げていく。とあとがきに書かれています。

是非、手にとって読んでみてください。



数学科 有田啓介先生がお薦めして下さった本です。

書名:『痴人の愛』

著者名:谷崎潤一郎 出版社:新潮社



あらすじ:将来美人確定の家出娘「ナオミ」に一目惚れした讓治は、習い事の月謝を払うことで、ナオミと同居することに成功する。欲しがるものは何でも与え、一流の女に育てようとするが、いつしか立場は逆転し、讓治はナオミに支配されていく…。

おすすめコメント:女性に恋する男の心情をここまで赤裸々に美しく描くことのできる谷崎潤一郎は本当に天才です。美しいナオミに狂うように恋する讓治に感情移入するとやけ酒が飲みたくなってきます。

♪ 新し本がいのぼり・・・♪

五分の花嫁①～④
春場ねぎ(著) 【726.1】

ミステリと言う勿れ⑦
田村由美(著) 【726.1】

キングダム 59
原泰久(著)【726.1】

この音とまれ! 23
アミュ(著) 【726.1】

鬼滅の刃 22
吾峠呼世晴(著) 【726.1】

地球環境 陸・海の生態系と人の将来
小松正之 他(著)
自然の回復力と吸収力を活用すること。
【519.8】

地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題
川瀬宏明(著)
温暖化で日本の雪が変わる?雪の「いま」と「未来」に迫る。 【451.66】

「もしも」のときに役に立つ!
防災クッキング①②③
今泉マユ子(著)
【369.4】



葉屋のひとりごと⑧
日向夏(著) 【913.6】

サキの忘れ物
津村記久子(著)
9つの物語で形成される短編集。特に、変わった形式をとっているのが『真夜中をさまようゲームブック』という小説。ゲームブック形式になっている。文中に現れる数字のところへ読み進んでいく。内容が何パターンにもなるおもしろい仕掛けになっているので、楽しめます。【913.6】



ベトナムかあさんの味とレシピ
伊藤忍+ベトナム大好き編集部(編)
台所にお邪魔して、定番の揚げ春巻きから伝統食まで、ベトナムのお母さんに作ってもらったお料理の数々。今すぐにでもベトナムへ行って食べてみたくなる1冊です。【596.22】



宇宙の謎に迫れ! 探査機・観測機器61
小谷太郎(著)
いまこの瞬間も、宇宙のどこかで地球のどこかで働き続ける探査機や観測機器は、宇宙の何をどのように調べているのでしょうか。
【538.94】



iPS細胞の研究室
志田あやか(著)
そもそも、iPS細胞とは何なのかというギモン、生物学の歴史や今まさに行われている研究の最先端、未来について。
【491.11】



全文完全対照版
葉根譚コンプリート
野中根太郎(訳)



『葉根譚』の著者は洪自誠。明の時代末期(1573～1620)ごろの人であつたらしい。中国古典なのですが、中国ではほとんど読まれずに、日本で絶大な支持を得ています。
【159】

ダム大百科
萩原雅紀(監修) 【517.7】

そのとき、どうする?
甘中繁雄(監修)
ただちに命を守るよさの行動マニュアル
【369.3】

ずっと見つめていた
森島いずみ(作)/しらこ(絵)
妹つぐみは、化学物質過敏症。とうさんとかあさんは、田舎への移住を決めた。
コンビニまで自転車で行く? ケータイの電波は?
【913.6】

地図とデータで見る 気象の世界ハンドブック
フランソワ=マリ=ブレオン(著)
「2050年までに、世界の気候難民は2億5000万人になる」と予想されている。
【519】

生態学は環境問題を解決できるか?
伊勢武史(著) 【468.2】

ニューエクスプレス+ アラビア語
竹田敏之(著)
会話+文法 はじめての入門書
【829.76】

